

青森県教育委員会第304回臨時会会議録

期 日 平成27年10月28日（水）

場 所 教育庁教育委員会室

議事目録

- | | |
|--------|---|
| 議案第1号 | 平成28年度青森県教育委員会事務局及び教育機関（学校を除く。）の職員人事異動方針案・・・・・・・・・・・・・・・・原案決定 |
| 議案第2号 | 平成28年度県費負担教職員人事異動方針案・・・・・・・・・・・・・・・・原案決定 |
| 議案第3号 | 平成28年度県立学校職員人事異動方針案・・・・・・・・・・・・・・・・原案決定 |
| 議案第4号 | 平成28年度青森県立高等学校（全日制の課程）入学者募集人員について・・・・・・・・・・・・・・・・原案決定 |
| 議案第5号 | 平成28年度青森県立高等学校（定時制の課程）入学者募集人員について・・・・・・・・・・・・・・・・原案決定 |
| 議案第6号 | 平成28年度青森県立高等学校（通信制の課程）入学者募集人員について・・・・・・・・・・・・・・・・原案決定 |
| 議案第7号 | 平成28年度青森県立八戸水産高等学校専攻科入学者募集人員について・・・・・・・・・・・・・・・・原案決定 |
| 議案第8号 | 平成28年度青森県立特別支援学校高等部入学者募集人員について・・・・・・・・・・・・・・・・原案決定 |
| 議案第9号 | 平成28年度青森県立特別支援学校専攻科入学者募集人員について・・・・・・・・・・・・・・・・原案決定 |
| 議案第10号 | 平成28年度青森県立中学校入学者募集人員について・・・・・・・・原案決定 |

平成27年10月28日（水）

- ・開会 午後1時30分
- ・閉会 午後1時45分
- ・出席者の氏名
豊川好司、町田直子、中沢洋子、野澤正樹、杉澤廉晴、中村充（教育長）
- ・説明のために出席した者の職
金教育次長、奈良教育次長、岡田参事、田村参事、教育政策・職員福利・学校教育・学校施設・生涯学習・スポーツ健康各課長、高等学校教育改革推進室長
- ・会議録署名委員
中沢委員、杉澤委員
- ・書記
仁和由紀人、村上健

会 議

議 事

議案第 1 号 平成 2 8 年度青森県教育委員会事務局及び教育機関（学校を除く。）の職員人事異動方針案

（村元職員福利課長）

青森県教育委員会事務局及び教育機関の職員の人事異動方針は、時代の変化や県民の教育に対するニーズに的確に対応する教育行政を適正かつ積極的に推進するため、職員の志気高揚を図ることはもとより、組織が活力あるものとして有効に機能しうるよう、職員の適正配置と人事の刷新を図るという観点で定めているところである。

平成 2 8 年度の人事異動方針については、引き続きこの観点で実施することとし、今年度の異動方針と同様とするものである。

（豊川委員長）

何か御意見、御質問はあるか。なければ、議案第 1 号は原案どおり決定する。

議案第 2 号 平成 2 8 年度県費負担教職員人事異動方針案

（田村参事）

平成 2 8 年度県費負担教職員人事異動方針については、市町村教育委員会連絡協議会教育長会から意見を聴取し、検討した結果、今年度の人事異動方針と同様とするものである。

（豊川委員長）

何か御意見、御質問はあるか。なければ、議案第 2 号は原案どおり決定する。

議案第 3 号 平成 2 8 年度県立学校職員人事異動方針案

（田村参事）

平成 2 8 年度県立学校職員人事異動方針については、青森県高等学校長協会から意見を聴取し、検討した結果、今年度の人事異動方針と同様とするものである。

（豊川委員長）

何か御意見、御質問はあるか。なければ、議案第 3 号は原案どおり決定する。

平成 2 8 年度の人事異動方針について審議してきたが、事務局は、人事異動方針にあるとおり、教職員の適正配置と人事の刷新を図り、本県教育の振興を期するため、市町村教育委員会との緊密な連携のもと、人事異動作業を進めていただきたい。

特に、昨今のいじめなどの学校課題や行政課題等に積極的かつ適切に対応するため、県

民の視点に立ち、各学校の状況等も十分に踏まえながら、人事異動作業に取り組んでいただきたい。

議案第4号 平成28年度青森県立高等学校（全日制の課程）入学者募集人員について
（西谷高等学校教育改革推進室長）

本県における平成28年3月の中学校卒業見込者数は、12、452人であり、本年3月に比べて214人減少する見込みであります。

平成28年度の募集人員計画については、本年度の募集人員と各地区ごとの入学見込者の状況等を勘案して策定している。

東青地区については、学級の増減は行わないこととしている。

西北五地区については、五所川原農林高等学校生活科を募集停止とし、1学級35人の減として、西北五地区全体で35人の削減としている。

中弘南黒地区については、学級の増減は行わないこととしている。

上十三地区については、三本木農業高等学校生活科を募集停止とし、1学級35人の減として、上十三地区全体で35人の削減としている。

下北むつ地区については、大間高等学校普通科2学級の学級定員を40人から35人に引き下げることにより10人の減、むつ工業高等学校電子機械科を募集停止とし、1学級35人の減として、下北むつ地区全体で45人の削減としている。

三八地区については、学級の増減は行わないこととしている。

この結果、平成28年度の県立高等学校（全日制の課程）入学者募集人員は、平成27年度に比べ、115人減の8、890人としている。

（豊川委員長）

何か御意見、御質問はあるか。なければ、議案第4号は原案どおり決定する。

議案第5号 平成28年度青森県立高等学校（定時制の課程）入学者募集人員について
（西谷高等学校教育改革推進室長）

定時制の課程については、来年度においても本年度とほぼ同程度の入学者が見込まれることから、募集人員を平成27年度と同数の640人としている。

（豊川委員長）

何か御意見、御質問はあるか。なければ、議案第5号は原案どおり決定する。

議案第6号 平成28年度青森県立高等学校（通信制の課程）入学者募集人員について
（西谷高等学校教育改革推進室長）

通信制の課程については、定時制の課程と同様、来年度においても本年度とほぼ同程度の入学者が見込まれることから、募集人員を平成27年度と同数の500人としている。

(豊川委員長)

何か御意見、御質問はあるか。なければ、議案第6号は原案どおり決定する。

議案第7号 平成28年度青森県立八戸水産高等学校専攻科入学者募集人員について

(西谷高等学校教育改革推進室長)

同校には、専攻科として漁業科と機関科が設置されているが、専攻科では、修業年限である2年の間に実習及び専門科目を履修することにより、3級海技士の航海又は機関の受験資格を取得させることをねらいとしている。募集人員については、平成27年度と同数の、漁業科、機関科それぞれ10人、計20人としている。

(豊川委員長)

何か御意見、御質問はあるか。なければ、議案第7号は原案どおり決定する。

議案第8号 平成28年度青森県立特別支援学校高等部入学者募集人員について

(和嶋学校教育課長)

平成28年度の県立特別支援学校高等部入学者募集人員は、全体で51学級278人の募集となり、平成27年度と比較して学級数に変更はないが、募集人員は10人の減となるものである。増減の内訳であるが、知的障害を対象とする高等部については、青森第二養護学校及びむつ養護学校において、それぞれ前年度比で普通学級1学級の減により8人ずつの減となるものである。また、肢体不自由を対象とする高等部については、八戸第一養護学校において、前年度比で重複学級2学級の増により6人の増となるものである。

(豊川委員長)

何か御意見、御質問はあるか。なければ、議案第8号は原案どおり決定する。

議案第9号 平成28年度青森県立特別支援学校専攻科入学者募集人員について

(和嶋学校教育課長)

県立盲学校には、高等部のほか専攻科として、修業年限3年の理療科を設置し、あん摩・マッサージ・指圧師、はり師及びきゅう師の資格取得に向けた実習及び専門科目の教育を実施している。この専攻科に係る平成28年度の募集人員は、平成27年度と同数の8人とするものである。

(豊川委員長)

何か御意見、御質問はあるか。なければ、議案第9号は原案どおり決定する。

議案第10号 平成28年度青森県立中学校入学者募集人員について

(西谷高等学校教育改革推進室長)

青森県立三本木高等学校附属中学校の募集人員については、平成27年度と同数の2学級80人としている。

(豊川委員長)

何か御意見、御質問はあるか。なければ、議案第10号は原案どおり決定する。